

最近の「食の安全・安心」に関する事案について

【 学校給食モニタリング事業について 】

学校給食における児童生徒等の安心・安全を確保するため、平成24年度から給食一食分の放射性物質検査（検出下限値1Bq/kg）を行っております。平成24年度と比べ、検出件数は年々減少傾向となっております。

| | 実施検体数 | 検出検体件数 | 最大検出値 (Bq/kg) |
|-------------|-------|--------|------------------|
| 平成24年度 | 1,962 | 14 | 2.53 |
| 平成25年度 | 2,480 | 6 | 1.28 |
| 平成26年度 | 2,859 | 0 | — |
| 平成27年度（上半期） | 549 | 0 | — |

【 「いただきます。ふくしまさん」事業について 】

安心・安全な県産農林水産物を学校給食に活用することで児童生徒の食育推進を図るとともに、保護者に対する給食試食会、説明会等を開くことで原発事故の影響で抱いた学校給食への不安軽減につなげることを目的としています。

平成25年度から市町村等を対象に補助事業として実施しています。

（事例1）

いわき市教育委員会では、今年度5月から10月にかけて保護者を対象とした放射性物質検査見学会を数回行っており、保護者に学校給食用食材の検査および調理現場を実際に見学してもらいながら説明を行い、保護者の給食に対する不安軽減に努めました。



（事例2）

田村市船引小学校で、6月に保護者の給食試食会等を実施しました。試食会と併せて、学校給食センターでの調理作業や放射能物質の検査の様子等を、スライドを使って説明を行い、給食用食材の検査体制や安全性について保護者に理解していただきました。

説明を受けた後、実際に地場産物を活用した給食を食べることで、地場産物の安全性や良さを知っていただく機会となりました。

